

ディプロマポリシー（卒業認定・専門士の称号授与の方針）

看護学科は、人間性豊かな人格の陶冶と看護師となるために必要な知識及び高度な技術を専門的に教育し、以て社会に貢献する有能な人材を育成することを目的としており、人材育成に関する目標を定めています。

その実現のために、人間教育を基盤にした専門教育を行うための体系的なカリキュラムを構築し、学生に履修に関する教育内容、評価方法を明らかにし客観的な成績評価を行っています。

卒業要件を満たす所定の単位を修得した方に対して卒業を認定し、医療専門課程の専門士の称号を授与しています。

1. 人間への深い関心と豊かな感性と尊厳をもち看護の対象を理解し、看護実践の場において人としての権利を尊重できる倫理観をもち対処ができる。
2. 人間をあらゆる側面から統合的に捉え、生活を営む存在として幅広く捉えることができる。
3. 対象の健康上・生活上の問題を根拠に基づいて考察し、安全かつ安楽に看護実践できる知識技術・態度をもつことができる。
4. 看護職としての役割・機能を認識し、変化する保健・医療・福祉社会の中で人々が社会資源を活用できるよう総合的に理解し、他職種と連携・調整する姿勢をもつことができる。
5. 地域的・国際的視野の課題も幅広く捉え、多様な場面で対応できる姿勢をもつことができる。
6. 自ら学問を探究する姿勢を持ち、専門職業人として向上心をもち課題達成に取り組むことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本校は、「人間愛と自己実現」という理念のもと、看護の専門的な実践能力を身につけることができるような人材育成を目指しています。本校のディプロマポリシーに基づき、以下のようなカリキュラム編成で教育を行っています。

1. 基礎分野

教養教育の充実をはかり、幅広い知識を養うとともに人間性豊かな看護職養成のための科目と人間愛を基盤とした感性豊かな人間として成長し、科学的な根拠に基づいた判断ができる基礎科目を設定しています。

2. 専門基礎分野

専門科目の基盤として必要な人体の仕組みと働きや病態・治療を理解する科目と、健康支援と社会保障制度の現状と課題を踏まえ、他職種と連携・協働しながら看護職としての専門性を発揮出来るよう職責を理解し、社会に貢献するための基礎的能力を身につけるための科目を設定しています。

3. 専門分野・統合分野

- 1) 看護専門職としての多様な場での多様な対象に合わせた実践力を備えた看護職養成のため、カリキュラムおよび学習内容の順序性を考慮したカリキュラム編成をしています。
- 2) 看護を実践するための基本となる能力、看護の展開能力、看護実践の中で研鑽する能力を修得する科目を設置しています。
- 3) 専門職業人としての態度や人に対する深い思いやりや感性を養うために教科外活動を設定し、入学から卒業まで段階的・継続的に教育をしていきます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

入学者選抜の基本方針

本校では、一般入試（前期・後期）、特別選抜（推薦入試・社会人入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって、本当に看護師になりたい多様な人材を受け入れることを目指しています。

看護学校としては、以下のような資質を有する学生を求めています。

1. いのちを大切に思い、人が好きで思いやりのある人
2. 看護・医療に対する意欲があり、前向きに努力する人
3. 視野を広くもち、知的好奇心や探究心をもって学習できる人
4. 協調性があり、人と良好な関係を保つことができる人
5. 自分の考えや行動に責任を持ち行動できる人